

第三期中期計画の主な修正点について

2月7日提出案	本日提出案	修正理由
<p>I 大学の教育・研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 育成する人材に関する目標を達成するための措置</p> <p>ア 学士課程</p> <p>(ウ) ソフトウェア情報学部</p> <p>コンピュータサイエンスに立脚し、IT 企業・教育機関等の分野で活躍が期待される「人と情報化社会が調和した豊かな社会」の発展に寄与できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいたコースの設置と体系的な教育課程を編成するとともに、学生データベースを充実し、学生の履修状況に応じた学修指導の強化を図る。</p>	<p>I 大学の教育・研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 育成する人材に関する目標を達成するための措置</p> <p>ア 学士課程</p> <p>(ウ) ソフトウェア情報学部</p> <p>コンピュータサイエンスに立脚し、IT 企業・教育機関等の分野で活躍が期待される「人と情報化社会が調和した豊かな社会」の発展に寄与できる人材を育成するため、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいたコースの設置と体系的な教育課程を編成し、学生の主体的な学修を推進するとともに、学生データベースを充実し、学生の履修状況に応じた学修指導の強化を図る。</p>	<p>ソフトウェア情報学部の育成する人材に関する目標を達成するための措置にアクティブラーニングの推進に関する記載がないとの指摘を受けて追加したもの。</p>

第三期中期計画に係る目指す成果・達成状態及び数値目標の主な修正点について

2月7日提出案				本日提出案				修正理由
20 研究の水準を向上させるため、独創的で先進的な研究に学内外の研究者と共同で取り組み、学術研究交流を活発化させるとともに、研究成果の学会発表等を支援し、発信の機会を増やす。				20 研究の水準を向上させるため、独創的で先進的な研究に学内外の研究者と共同で取り組み、学術研究交流を活発化させるとともに、研究成果の学会発表等を支援し、発信の機会を増やす。				
目指す成果・達成状態 (最終：H35.3.31時点)	数値目標 (最終：H35.3.31時点)	目指す成果・達成状態 (中間：H33.3.31時点)	数値目標 (中間：H33.3.31時点)	目指す成果・達成状態 (最終：H35.3.31時点)	数値目標 (最終：H35.3.31時点)	目指す成果・達成状態 (中間：H33.3.31時点)	数値目標 (中間：H33.3.31時点)	
共同研究数が増加するとともに、学術論文が執筆され、研究成果の学会発表が増えている。	・1人当たりの年間学会発表等(論文執筆を含む)件数 5件	共同研究数が増加するとともに、学術論文が執筆され、積極的に研究成果が学会で発表されている。	・1人当たりの年間学会発表等(論文執筆を含む)件数 4件	共同研究数が増加するとともに、学術論文が執筆され、研究成果の学会発表が増えている。	・平均年間学術成果発表件数：4.4件 ・科研費等の競争的資金の採択件数【新規+継続】：137件	共同研究数が増加するとともに、学術論文が執筆され、積極的に研究成果が学会で発表されている。	・平均年間学術成果発表件数：4.3件 ・科研費等の競争的資金の採択件数【新規+継続】：122件	